

# 七尾市農業委員会だより

2025  
新年

令和7年1月1日発行／発行 七尾市農業委員会／編集 農業委員会だより編集委員会  
TEL 0767 (53) 8440／FAX 0767 (52) 7765／E-mail:nougyouinkai@city.nanao.lg.jp

No.73



能登島から望むツインブリッジのと

法	小	松	坂	菱	岡	西	橋	北	佐	黒	酒	平	山	大	萩	山	委員	寺	会長	坂	會長
京	柳	田	本	野	崎	野	本	谷	木	土	井	山	岸	濱	原	本	井	井	職務	井	助
廣	宗	友	良	仁		良	俊	幸	政		洋	邦	俊	正	英	助	代理	者	助	光	
照	久	也	正	志	康	猛	子	一	造	德	稔	也	夫	昭	彦	秋	雄	光			

農業委員

事	室	村	村	西	細	中	田	石	山	長	山	岩	岩	伊	飯	室	道	竹	白	神
務	屋	田	瀬	川	谷	島	浦	坂	田	田	田	見	木	豆	田	塚	下	山	山	野
局	哲	重	峰	大	明	宗	与	竜	大	清	信	良	義	利	久	外				
職	生	則	行	介	郎	満	嗣	太	修	輔	隆	秀	稔	一	保	明	信	雄	博	志
員																				
一																				
同																				

農地利用最適化推進委員

明けまして  
おめでとーうございます  
令和七年元旦 七尾市農業委員会

会長新年挨拶

新年明けましておめでとうございませう



七尾市農業委員会

会長 坂井 助光

新しい年、令和7年を迎えました。

昨年、元日に発生した能登半島地震が、能登を中心に甚大な被害をもたらしました。

その後も身を震わすような余震が続く中、6月3日の朝や11月26日の夜にも大きな揺れがあり、また、夏の記録的な酷暑、9月の奥能登を襲った集中豪雨など自然の猛威を感じる年でありました。

能登半島地震から1年が経過し、地震や豪雨により災害に遭われた方々に、あらためて心から哀悼の意とお見舞い申し上げます。

農業関係においても、農地の地割れや崩落、ため池や水路の損壊、作業場等の施設への被害も大きく、早期の復旧を図るとともに、令和7年度以降の農業者の生産意欲の確保が緊急の課題となっています。

私たち農業委員会においても、食料・農業・農村基本法のもと、地域の農業を次世代に引き継ぐため、将来の在り方を示す地域計画を作り上げ、地域の皆様方と共に震災からの復旧・復興に取り組んでまいります。今、改めて「農は国の基なり」を強く思います。

祭り囃子が鳴り響く、明るく元気な農村集落がいつまでも続くことを目指し、令和7年が自然災害の無い穏やかな年となることと、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

「がんばろう能登・がんばろう七尾！」

## 「地域計画」を策定します！

地域計画とは、「いつ」「誰が」「どの農地を」「どのように活用するのか」など、10年後の地域農業の未来をまとめるものです。

各集落において、担当する農業委員や農地利用最適化推進委員をはじめ、中心的な農業者や生産組合長など地域農業の中心となる方々が集まり、現状や課題、将来の目指すべき姿を話し合い、それを基に作成した地図を含めた「地域計画」を作成しています。

地域計画は、令和7年3月下旬



までに七尾市により公告され、策定されることとなります。

農業者の減少や高齢化など、地域の農業を守ることは簡単なことではありませんが、この計画を達成できるよう、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※地域計画は、今後、七尾市ホームページや市農林水産課で公表されます。



## 【能登の農業の励みに】 復興祈り献納

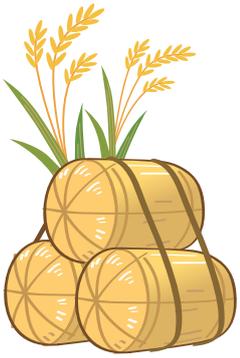
9月24日、宮中新嘗（にいなめ）祭に献納する新米の御抜穂式（おんぬきほしき）が、中島町中島の農家木下源蔵さん（64）の水田で行われました。黄金色に実った稲穂を、お孫さんを含む刈米姿の中学生5人が一本ずつ丁寧に抜き取りました。

水田に地震被害はなかったものの、連日の猛暑や豪雨などの気象条件の厳しい中、一日3回の見守りを欠かすことなく精魂込めて育てあげ、「立



派な米ができました。能登の農業の励みになってほしい。」と木下さんは笑顔で話されていました。

新嘗祭は収穫された新米などを神々に供え、国民の安寧や五穀豊穡を祈願する宮中祭祀です。七尾市からの献穀は9年ぶりで、収穫された新米のうち5合が献納されました。



## 女性農業委員の活動

令和6年度

### 「北信越ブロック女性の農業委員研修会」に参加して

橋本 良子

今年の研修会は、10月28日に富山市で開催されました。午前中、全国農業会議所の伊藤野百合氏から「食料安全保障」を目標に「食料・農業・農村基本法」の見直しについて説明があり、国会での改正法案の審議と



ともに令和7年3月頃に新たな基本計画が出される予定とのことでした。

また地域計画の策定について、その目的と農業委員会の関わりについて学びました。

そのために求められるのは「開かれた話し合い」の場。

地域に合った話し合いをするために、プレゼンテーション方式とワークショップ方式をうまく進めるポイントを学びました。

そして、それぞれに農業委員の役割と女性農業委員の登用、アピールすべき女性農業委員登用の効果についても意思が反映されるよう、他市の事例を参考に登用の促進と資質の向上を実現することが重要だと改めて学びました。

午後は「思いをカタチにできる座談会の開き方」をテーマにワークショップを行い、他市の農業委員と楽しい学びの時間を共有し、それぞれのグループ発表にいろいろな気づきとアイデアを得ることができました。

実際には、思い描くような会議の進め方はできないかもしれませんが、その過程も大切にしないといけないとの思いに至りました。

まずは、皆様の思いをしっかりと伝える場、意見を言える場をつくることが大切です！

今回の学びが今後の活動に少しでも活かせるようにと思う時間になりました。

## 第62回石川県農業委員会大会

11月20日、小松市民センターで県内の農業委員並びに農地利用最適化推進委員が一堂に会し、石川県農業委員会大会が開催されました。

全国農業会議所農地利用最適化担当部長の佐藤氏から「農業委員会組織をめぐる情勢と食料・農業・農村基本計画の見直しについて」と題して、農業・農政をめぐる情勢についての報告がありました。また、地域計画については目標地図の作成状況や策定後の取り組みについて説明があり、農業委員の今後の活動に改めて参考になるものとなりました。

大会では、大規模自然災害への対応を含む農業政策に関する提案決議、「地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る全国運動」を推進するための申し合わせ決議、「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議の3つの提案が採択されました。



## 全国農業新聞

経営と暮らしに  
役立つ情報がいっぱい

を購読  
しましょう!

- ◆発行日 毎週金曜日
- ◆購読料 一カ月700円 年額8,400円

## 編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は、千年に一度といわれる大地震、またその後の大雨被害などかつて経験した事のない災害に見舞われました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。農業関係では地盤沈下による排水不全、塩害、施設の損壊、農機具の破損など、甚大な被害となりました。今後の農業経営に光が当たるよう情報提供など委員一同がんばっていきたいと思いますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

編集委員一同

国が支える 安心が大きくなる

# 担い手積立年金

## 農業者年金

[愛称]

3つの要件を満たせばどなたでも加入できます!

- ◆加入資格
- 60歳未満
- 国民年金第1号被保険者
- 年間60日以上農業従事



税制面の優遇措置や終身年金で80歳までの保障付きなど様々なメリットがあります。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ、お申し込みは農業委員会へ  
☎ 53-8440 FAX 52-7765